

第29回日本高齢者大会 会場案内図

和歌山大学 (和歌山市栄谷930)

※「和歌山大学」バス停下車

◆南海「和歌山大学前」駅から

徒歩で約20分、和歌山バス(和歌山大学前駅東口
バス停 和歌山大学行き)で約4分(推奨)

◆南海「和歌山市」駅から

和歌山バス(6・7番乗り場 和歌山大学行き)で約
20分

◆JR和歌山駅から

和歌山バス(4番乗り場 和歌山大学行き)で約
30分

※「大学口」「大学門前」各停留所は和歌山大学の
最寄停留所ではありませんのでご注意ください。
和歌山大学終点まで乗車ください。

【例えば】新幹線利用の場合

新大阪(地下鉄御堂筋線なかもず方面)→地下鉄なん
ば駅下車…(徒歩)…南海線難波駅(和歌山市方面)→
和歌山大学前駅下車

※自家用車等で来場される方は、和歌山大学内には駐
車場スペースはありませんので、ご了承ください。



県民文化会館 (和歌山市小松原通1-1)

JR「和歌山」駅より

◆和歌山バス:西口②、④番乗り場から

「県庁前」、「和歌浦口」、「医大病院」行き等
に乗車(約15分)「県庁前」下車、西に徒歩
すぐ

南海「和歌山市」駅より

◆和歌山バス:⑨、⑩番乗り場から

「医大病院」、「マリーナシティ」行き等に乗
車(約10分)「県庁前」下車、西に徒歩すぐ



まちから村からの連帯で ひとりぼっちの高齢者をなくそう
戦後70年 憲法をいかし 格差のない公正な社会を

第29回



日本高齢者大会

THE 29th CONVENTION OF JAPAN OLDER PERSONS

2015/in 和歌山



日本のナショナルトラスト運動の発祥の地「天神崎」(田辺市)

1日目

9月15日(火)

和歌山大学 和歌山市栄谷930

13:00~16:30……学習講座・分科会・移動分科会

17:00~19:00……夜の講座・和歌山学・うたごえ広場・和歌山の利き酒

2日目

9月16日(水)

県民文化会館 和歌山市小松原通1-1

10:00~13:00…全体会(記念講演・報告と決議・文化行事)

記念講演

安斎 育郎氏 (立命館大学名誉教授/安斎科学・平和事務所所長)
「戦後70年 日本の未来へのメッセージ」

参加費

1日/2,500円 2日間/5,000円

主催

第29回日本高齢者大会中央実行委員会

〒164-0011 東京都中野区中央5-48-5-504 TEL/FAX 03-3384-6654

第29回日本高齢者大会和歌山県実行委員会

〒640-8269 和歌山市小松原通3-20 和歌山県教育会館 TEL/FAX 073-422-0150

多彩な企画で まなび・交流し・元気がでる集まりへ参加しましょう

長寿は世界の人々が求めている夢です。長寿者は、人々から祝福され尊敬されてきました。日本でも長寿を祝う節目の年齢には、還暦、古稀、喜寿、傘寿、米寿など家族でお祝いする文化が続いています。

しかし、いま日本は世界一の長寿社会を迎えましたが、長寿を喜び安心してらせる社会になっているでしょうか。

どうすればもっとくらしやすい長寿社会にしていけるのでしょうか。日本高齢者大会は、こんなみんなの気持ちをもちより、医療・介護・年金や平和の問題などを学び考える場です。そしてよりよい地域社会をつくるため全国の活動を交流する場です。いろいろな知恵やヒントがあります。

1日目 9月15日(火)13:00～16:30 講座・分科会・シンポジウム 会場=和歌山大学

	会 場		定員	教 室		No.	テ ー マ	講 師	
学 習 講 座	基礎教育棟	G-101	400	第 1 教室	前半	①	老後破産の現実	板垣 淑子	NHK大型企画開発センター チーフ・プロデューサー
					後半	②	高齢者の貧困化	河合 克義	明治学院大学教授
		G-102	250	第 2 教室	前半	③	どうなる これからの医療・介護	山口 一秀	中央社保協事務局長
					後半	④	高齢期保障のあゆみと高齢期運動	篠崎 次男	日本高齢者運動連絡会顧問
		G-103	300	第 3 教室	前半	⑤	戦後70年と日米安保を考える	伊波 洋一	元宜野湾市市長
					後半	⑥	辺野古新基地建設と沖縄県民の思い	伊波 洋一	元宜野湾市市長
		G-203	123	第 4 教室	前半	⑦	グローバル社会の中での日本の経済	山家悠紀夫	暮らしと経済研究室 室長
					後半	⑧	TPPで日本の食と農業はどうなる	JA和歌山中央会	
	経済学部棟	E-301	150	第 5 教室	前半	⑨	東日本・阪神淡路大震災から学ぶ国民本位の震災対策	国土交通労働組合 近畿建設支部 公共事業対策部	
					後半	⑩	自然エネルギーの普及と地域活性化	和田 武	元立命館大学教授 元日本環境学会会長
	教育学部棟	L-201	150	第 6 教室	前半	⑪	激動する中東情勢を考える —日本は中東にどう向かい合おうとしているか	尾崎 芙紀	中東研究者
					後半	⑫	憲法を身近なものに 日本国憲法を学ぼう	畑 純一	和歌山合同法律事務所弁護士
	観光学部棟	T-101	120	第 7 教室	前半	⑬	和歌山から宇宙まで 人間の生活と文化を学ぶ ～ドームで映像体験もあります～	尾久土正巳	和歌山大学観光学部教授
					後半	⑭			

	会 場	定員	教 室		テ ー マ		講 師	
分 科 会	経済学部棟	E-101	350	第1分科会	⑮	戦後70年 音楽を通して平和を考えましょう	井澤慶三・うたごえオールスターズ	
		E-103	60	第2分科会	⑯	「住民参加と利用者主体の施設づくりから見えたもの」 ～安心できる施設生活とは?と一緒に考えましょう～	中村 公三	社会福祉法人こばと会 事務局次長
		E-104	60	第3分科会	⑰	地域包括ケアにおける医療・介護と住民参加のまちづくりを	山本 敏貢	千代田短期大学教授
		E-105	60	第4分科会	⑱	高齢者は狙われている 消費者被害にあわないために	わかやま市民生協	
		E-302	250	第5分科会	⑲	シンポジウム「ノーモアフクシマ ノーモア原発事故災害」 ～福島・福井・和歌山からの報告～	和歌山県実行委員会	
	基礎教育棟	G-201	60	第6分科会	⑳	高齢者の働きがい・生きがい・遊びがい	唐鎌 直義	立命館大学教授
		G-202	96	第7分科会	㉑	ひとりぼっちの高齢者をなくそう 高齢者の居場所づくり	金川めぐみ	和歌山大学経済学部准教授
		G-205	60	第8分科会	㉒	口からみえる健康長寿社会の秘訣～口が元気で 『歯っぴらライフ』	山西 章仁	和歌山県保険医協会理事 歯科医師
		G-206	60	第9分科会	㉓	高齢期を充実させる各種制度の活用	中村東輝子	全京都生活と健康を守る 会連合会
		G-207	60	第10分科会	㉔	高齢者と人権	井上 英夫	金沢大学名誉教授
		G-302	96	第11分科会	㉕	若い人も高齢者も安心できる年金制度を	加納 忠	全日本年金者組合大阪府 本部書記長
		G-304	60	第12分科会	㉖	お葬式とお墓	柿田 睦夫	ジャーナリスト
		G-305	60	第13分科会	㉗	高齢者・障害者 共に生き共に輝く社会を	田中 秀樹	一妻会 理事長
		G-306	60	第14分科会	㉘	協力・共同を広げる高齢期運動地域連絡会づくり	大森米三郎	和歌山県高齢者運動連絡会会長
	教育学部棟	L-101	200	第15分科会	㉙	健康寿命の延伸を科学的に実証した「わかやまシニア エクササイズ」の理論と実践 ※後半は体育館も利用します	本山 貢	和歌山大学教育学部教授
		L-103	70	第16分科会	㉚	「明日着物を着てみませんか?～簡単着付けできものライフ を楽しみましょう」※可能な方はゆかたか夏着物持参	寺内 順子	大阪社保協 事務局長
		L-202	100	第17分科会	㉛	今風 井戸端会議	福井 典子	福祉倶楽部 主宰

9月15日(火) 13:00～16:30 移動分科会 ※移動分科会受付に12:50まで

移動分科会	会 場		定員	教 室	No.	テ ー マ	講 師	
	バス	バス	45	分科会(1)	㉜	醤油発祥の地湯浅と稲村の火 (参加費2,000円)	戎 和男	
		バス	45	分科会(2)	㉝	国指定名勝 和歌の浦万葉コース (参加費2,000円)	小林 護	
		バス	45	分科会(3)	㉞	住民運動で残した貴志川線に乗って、 たま駅長に会おう (参加費2,000円)	貴志川線の未 来をつくる会	
		バス	45	分科会(4)	㉟	新義真言宗総本山、根来寺の興亡。 中世の宗教王国、僧 兵と鉄砲集団に思いをはせる (参加費2,000円)	増田 博	

*移動分科会は①中央実行委員会事務局へ事前申込み ②定員になり次第メ切り ③参加費は当日払い

9月15日(火) 17:00～19:00 夜の企画 会場：和歌山大学構内

夜の企画	会 場		定員	教 室	No.	テ ー マ	講 師	
	基礎教育棟	G-102	250	基礎講座	㉞	高齢者をめぐる情勢と運動の課題	篠崎 次男	日本高齢者運動連絡会顧問
		G-101	400	和歌山学(1)	㉟	世界遺産熊野古道(前半)と開創1200年高野山を学ぶ(後半)	県観光連盟	語り部
		G-103	300	和歌山学(2)	㊱	和歌山を舞台に障がい者と地域をテーマにした映画「ふるさとを ください」(脚本 ジェームズ三木)上映とプロデューサー講演	中橋真紀人	プロデューサー
		大学会館		交 流(1)	㊲	和歌山の利き酒 (参加費1,000円)		
		ふれあい 会館		交 流(2)	㊳	うたごえ広場 (参加費1,000円)		

【注】「テーマ」の記述は、4月20日現在のものです。

2日目 9月16日(水) 開場9:30 開会10:00～13:00

全 体 会 会場 県民文化会館

- 歓迎 ●主催者あいさつ ●来賓あいさつ ●基調報告 ●各地の報告
- 記念講演 ●文化行事 ●物産展(15日和歌山大学でも開きます)

記念講演

「戦後70年 日本の未来へのメッセージ」

安斎育郎氏 立命館大学名誉教授／安斎科学・平和事務所所長

プロフィール

1940年、東京・下町で9人兄弟の末っ子生まれ。1944年から5年間、福島県二本松に集団疎開。公立小・中・高を経て1960年に東京大学入学。以下、ご本人の弁。「東大工学部・原子力工学科卒。東大医学部で7年間教授。立命館大学経済学部教授。2年後に国際関係学部教授」で、「何の専門家か ひと口でいえないのが悔しい」。1995年～2008年、立命館大学国際平和ミュージアム館長。後、終身名誉館長。2011年開設の安斎科学・平和事務所所長。平和のための博物館ネットワーク諮問理事。原水爆禁止世界大会議長など。著書は膨大。「騙しの専門家」でもある。

